

平成 29 年一番茶実収報告

京都府農林水産技術センター
農林センター茶業研究所

1. 摘採日

仕立て法	本年	前年	前5か年	平年
自然仕立て	5月 12日	5月 2日	5月 6日	5月 7日
弧状仕立て	5月 10日	5月 4日	5月 7日	5月 7日

○平年は、平成6年～平成28年までの23年間の平均値

2. 生葉収量 (kg/10a)

仕立て法	本年		前年		前5か年平均	
	収量	指数	収量	指数	収量	指数
自然仕立て	792.2 ± 65.6	116	522.5 ± 74.2	77	681.4 ± 66.6	100
弧状仕立て	431.0 ± 93.5	118	378.6 ± 90.6	104	363.8 ± 81.2	100

○指数は前5か年平均を100とした場合の比

○弧状仕立てについては、摘採日前日夜の降雨により、葉の表面が一部濡れていた

3. 百芽重 (g)

仕立て法	本年		前年		前5か年平均	
	百芽重	指数	百芽重	指数	百芽重	指数
自然仕立て	55.5 ± 2.0	107	43.5 ± 13.5	84	51.9 ± 6.2	100
弧状仕立て	50.1 ± 8.1	96	65.4 ± 14.8	125	52.3 ± 9.2	100

4. 新芽数 (本/m²)

仕立て法	本年		前年		前5か年平均	
	新芽数	指数	新芽数	指数	新芽数	指数
自然仕立て	535.6 ± 126.6	93	526.2 ± 96.7	91	577.9 ± 62.3	100
弧状仕立て	1116.7 ± 399.7	73	1028.3 ± 215.4	67	1538.0 ± 287.5	100

○自然仕立ての数値は、20cm幅帯摘みの新芽数

5. 出開き度 (%)

仕立て法	本年	前年	前5か年平均
自然仕立て	71.1	32.8	48.7
弧状仕立て	80.0	42.7	66.9

6. 概要

(1) 摘採日

自然仕立て園、弧状仕立て園ともに萌芽期が平年より遅く、4月上旬～5月上旬の平均気温が平年並か平年より低く推移し、本年の一番茶摘採日は、自然仕立て園では、平年より5日、前5か年平均より6日遅い5月12日、弧状仕立て園では、平年より3日、前5か年平均より3日遅い5月10日となった。

(2) 生葉収量

自然仕立て園では、10a当たりの生葉収量は792.2kgで前5か年平均より多かった。

弧状仕立て園では、431.0kgで前5か年平均より多かった。なお、弧状仕立て園では、摘採日前日夜の降雨により、葉の表面が一部濡れていた。

(3) 病害虫の発生状況

当所におけるフェロモントラップによる5月末までの越冬世代の誘殺状況調査の結果、チャノコカクモンハマキでは、誘殺数は平年並、誘殺盛期は5月第2半旬と平年並だった。チャノホソガでは、誘殺数は平年並、誘殺盛期は4月第4半旬と平年並だった。

一番茶期の当所茶園において、一部灰色かび病が見られた。

(4) 茶市場の出荷状況

6月5日現在の全農京都茶市場への出荷量は、対前年度最終実績比で、てん茶で約7割、揉み茶で8～9割となっている。

手摘みてん茶：69.9% はさみ摘みてん茶：66.3%、

手摘み玉露：78.5% はさみ摘み玉露：88.9%

煎茶：90.0% かぶせ茶：89.3%